

世田谷区本庁舎等整備 総合評価方式における評価配点
(たたき台)

1 評価採点の考え方

(1) 施工実績評価点について

【前提】事務局が評価を行う。

「資料 2」の施工実績に掲げた 4 つの項目に対して【組織】【技術者】それぞれにつき

【案 1】

該当無し：0 点、1 項目該当：2 点、2 項目該当：4 点、3 項目該当：6 点、4 項目該当：8 点

各項目について特に評価に値する実績要件に該当する場合や複数の実績がある場合は加点する：8 点

【案 2】

該当無し：0 点、1 項目該当：2 点、2 項目該当：4 点、3 項目該当：6 点、4 項目該当：8 点

(2) 地域貢献評価点について

【前提】事務局が評価を行う。

区内事業者への発注金額の多寡にて評価する。最も高い提案額に応じた評価算定式を設定する。

例 (提案額 / 最も高い提案額) × 14 点

(3) 技術提案評価点について

【前提】評価値は、各審査者の評価値の平均値とする。

個々の評価項目に対して、

評価に値する提案無し：0 点、最低限：2 点、普通：4 点、良い：6 点、特に優れている：8 点とする。

(4) 失格要件について

技術評価点に応じた失格要件を設定するか否かを検討する。

設定する場合の例

技術提案評価点が 2 点未満となる項目が 7 つ以上 (項目の過半数) あれば失格

技術提案評価点の合計点が 26 点 (2 点 × 13 項目) 未満であれば失格 など

(5) ヒアリングについて

技術提案内容の確認のために、提案者に対するヒアリングを実施する。ヒアリング自体には評価点を設定しない。

2 評価配点の構成

(1) 技術評価点

分類		評価配点	
		案1	案2
施工実績 評価点	組織	32	16
	技術者		
地域貢献評価点		14	
技術提案 評価点	事業特性を考慮した施工体制	104	
	合理的な施工計画		
	段階的引渡に対する技術的配慮		
	設定工期内での各工期の最適化		
	運用中庁舎と同一敷地内での安全な工事計画		
	周辺環境配慮への取組み		
環境負荷低減、社会的動向等への対応に関する提案			
合計		150	134

(2) 価格点

150点

3 技術評価点の配点

評価項目	評価配点		提案事項
	案1	案2	
施工実績評価点			
組織は本工事の遂行に資すると考える指定要件以上の実績を有しているか	16	8	
技術者は本工事の遂行に資すると考える指定要件以上の実績を有しているか	16	8	
地域貢献評価点			
本事業に係る区内事業者への発注金額	14		
技術提案評価点			
事業特性を考慮した施工体制			
・施工難度を考慮した施工体制 ・長期事業であることを考慮した技術者の配置	8		施工体制
・区や区民との連携を考慮した体制の構築	8		
合理的な施工計画			
・既存建物形状や複雑な工事ステップに応じた工事エリア内の施工計画	8		施工計画図
・山留工事等、周辺影響を考慮した工事エリア内の施工計画 ・区民会館ホールの性能を確保する施工手法	8		
段階的引渡に対する技術的配慮			
・工期ごとに免震性能を発揮するための施工手法 ・仮使用範囲の免震変位モニタリングや変位発生時の対策	8		免震接続計画
・外壁や屋根の性能確保に対する施工上の配慮	8		屋根外壁接続計画
設定工期内での各工期の最適化			
・社会情勢の変化も考慮した工期遵守のための方策	8		全体工程表
・庁舎移転との調整方法や移転期間確保のための提案 ・別途契約会社との調整を円滑に進める施工管理手法	8		部分工程表
運用中庁舎と同一敷地内での安全な工事計画			
・庁舎利用者動線への安全対策や周知方法に関する提案	8		動線・区画計画
・庁舎機能を寸断させない安全管理手法・施工管理方法	8		インフラ切替計画
・自然災害発生時の現場内外の安全確保方法や区との連絡体制	8		自然災害対応策
周辺環境配慮への取組み			
・近隣住民の住環境、庁舎の安全な運用及び執務への影響を低減する施工上の配慮（騒音、振動、粉塵、その他配慮） ・工事進捗の区民への発信や工事と地域が関わりを持てる取組み	8		周辺環境配慮提案
環境負荷低減、社会的動向等への対応に関する提案			
・環境負荷低減、リサイクル等の取組み ・「働き方改革」や「ダイバーシティ対応」等への取組み ・その他本事業において提案したい事項	8		環境負荷低減、社会的動向対応
合計		150	134